

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2026年1月19日
第51号

バレー部新人大会 地区予選会優勝 合宿で成長の手応え

1月11日、バレーボール新人大会地区予選会で本校は小樽潮陵、小樽桜陽、小樽未来創造の3校と対戦。いずれも2-0で勝利し、3戦全勝で1月末の全道大会（旭川）出場を決めた。「レシーブ、動き、雰囲気も良く、留萌合宿の成果を出せた」と池田主将は語った。



目標は「一本目を確実に上げる、ラストのスパイクを決めきる」ことだ。

札幌地区コンテストで金賞 ソロ アンサンブル 坂本さん、川越さん・佐藤さん・野村さん

第62回北海道管楽器個人コンテスト・第57回北海道アンサンブルコンテストの札幌地区大会が1月11日、12日、キタラ小ホールで開催され、高等学校の部・ソロとアンサンブルで金賞を受賞した。ソロでは坂本実咲さん（2-4、ユーフォニウム）が谷津祐子さんのピアノ伴奏で「英国の賛美歌による変奏曲」（P・スパーク作曲）を演奏した。アンサンブルでは川越未遥さん（2-2、アルトサクソフーン）、佐藤芽里さん（2-4、フルート）、野村瑠璃さん（2-2、クラリネット）が木管三重奏で「ヒカリノユイ」（片岡寛晶作曲）を演奏した。



↑左から谷津祐子先生
坂本実咲さん
水澤大地先生



佐藤さん・野村さん・川越さん



アンサンブルの練習→

出場坂本さんは5位だった。ソロは1位のみが全道出場となる。坂本さんは「悔いなく演奏できたが、同じ楽器で同じ曲の人に順位で負けたのが悔しい」と話してくれた。

坂本さんの ライバル出現

ソロは30名が
んは「音量が小さいという自覚があり、申し訳ない」と述べた。講評では音色とピッチの調整が課題として示された。この悔しさを忘れず、8月のコンクールで全道出場を目指す3人は語っている。

全道出場まであと一歩
8月のコンクールでリベンジ
アンサンブルには35組が出場し、6位だった。5位以上が全道出場となり、惜しい結果となった。川越さんは「全道出場を目指し、『今年こそは』と頑張り、期待していたので、悔しいです」と語った。昨年もチャレンジして6位だったので悔しさは残るが、「今年さらさらにレベルを上げ、良い方向に向かっていった」と佐藤さんは振り返る。野村さ